

卒業後に受験可能な資格試験（建築系）	資格名	概要	申込期間	試験日・試験地	試験内容・大学での支援(関連講義科目)	問い合わせ先・ホームページ	受験資格
	一級建築士	大規模建築を含む全ての建築物の設計・工事管理を担当できる。	5月中旬	学科試験：7月 設計製図試験：10月 試験地：各都道府県	学科試験は、計画、環境・設備、法規、構造、施工の5分野がある。設計製図試験は、学科試験合格者が対象である。試験内容は建築全般に及んでいる。大学で学ぶすべての講義の理解が必要である。	(公財)建築技術教育普及センター 〒104-0031東京都中央区京橋2-14-1 TEL: 03-5524-3105	当学科建築コースを卒業すれば、受験資格が得られる。
	木造建築士	二級建築士に準ずる資格で、木造建築物の設計・工事管理を行う。ただし、コンクリート造や3階以上又は300㎡以上の建築物の設計・工事管理はできない。	4月上旬	学科試験：7月 設計製図試験：10月 試験地：各都道府県	学科試験：計画、施工、法規、構造の4分野から25題ずつ出題。学科試験合格者が設計製図試験に臨める。設計課題は木造専用住宅が主。	同上	同上
	建築施工管理技士 (1級・2級)	建築施工管理技術の向上を図るために設置された資格。 1級は一般建設業、特定建設業の許可基準の専任技術者、主任技術者及び管理技術者の資格者、 2級は一般の建設工事現場の主任技術者になれる。		試験日：11月 1級2級試験地：札幌、青森、仙台、東京、新潟、金沢、名古屋、大阪、広島、高松、福岡、鹿児島、那覇	第一次検定：建築学全般、施工管理法、法規 第二次検定：(記述式)施工管理法	(一財)建設業振興基金 試験研修本部 〒105-0001東京都港区虎ノ門4-2-12 TEL：03-5473-1581	当学科建築コースを卒業し、一次合格後、 1級は5年以上、2級は3年以上の実務経験し、 一次合格があれば、受験資格が得られる。
	技術士 (建設部門)	高等の専門的応用能力を備えた技術者として認定される資格である。技術士は技術コンサルタントの能力があることを国が認定した技術者であることを示す。	一次試験6月 二次試験4月	一次試験：10月 二次試験：7月 試験場所は下記の各県の指定会場。(北海道、宮城県、東京都、神奈川県、新潟県、石川県、愛知県、大阪府、広島県、香川県、福岡県及び沖縄県)	一次試験：基礎科目、適性科目、専門科目 二次試験：技術部門全般にわたる専門知識の択一式試験、および選択科目について専門知識、応用能力、課題解決能力を問う筆記問題 口頭試験 受験者の技術的体験や適格性を問う 一次試験の内容は大学の授業と密接に関連している。	(公社)日本技術士会 〒105-0001東京都港区虎ノ門4丁目1番20号田中山ビル8F TEL: 03-3459-1333 https://www.engineer.or.jp	技術士になるための技術士第二次試験の受験資格は、科学技術に関する専門的応用能力を必要とするような計画、研究、設計、分析、試験又は評価の業務に通算7年を超える期間従事すること、または、技術士補として、通算4年を超える期間技術士を補助すること。
	コンクリート診断士	コンクリート構造物の診断を行い、維持管理、修繕の計画を行う。	4月～5月	7月 札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、高松、福岡、沖縄	変状の種類と原因・劣化の機構・調査手法・劣化予測、評価および判定基準・対策の種類、補修・補強工法・建築物あるいは土木構造物の診断の考え方・調査方法・技術および基準類の変遷に関する筆記問題大学で鉄筋コンクリート構造の単位を取得する必要がある。	(公社)日本コンクリート工学会 〒102-0083東京都千代田区麹町1-7相互半蔵門ビル12F TEL: 03-3263-1571 FAX: 03-3263-2115 https://www.jci-net.or.jp	コンクリート技術に関する科目を履修した大学卒業者で、4年以上のコンクリート関係技術業務経験が必要。 コンクリート診断士講習会の受講が必要。
	コンクリート診断士主任技士 コンクリート技士	コンクリート技士はコンクリートの製造・施工・検査・管理する。 コンクリート主任技士はさらに研究計画・指導を行う。	毎年8～9月	毎年11月・全国8都市	コンクリートに関する問題：標準仕様書、コンクリート用材料、配合設計、試験、プラントの計画管理、品質管理、コンクリート施工関係法規：建築基準法、JIS法 小論文(コンクリート主任技士)試験内容と密接に関連した授業を実施している。	(公社)日本コンクリート工学会 〒102-0083東京都千代田区麹町1-7相互半蔵門ビル12F TEL: 03-3263-1571 FAX: 03-3263-2115 https://www.jci-net.or.jp	コンクリート主任技士：卒業後4年の実務経験 コンクリート技士：卒業後2年の実務経験

在学中から受験可能な資格試験（土木系）	資格名	概要	奨励度	申込期間	試験日・試験地	試験科目	大学での支援内容	問い合わせ先・ホームページ	備考・受験資格	卒業後受験できる上級資格
	技術士補 （技術士一次試験）	技術士第一次試験に合格し、登録した人だけに与えられる称号で、技術士となるのに必要な技能を習得するために、技術士を補佐する。20部門あるが、本専攻では建設部門が主対象となる。	A	毎年6月	毎年11月頃 全国12都道府県 （北陸では石川県）	基礎科目：科学技术全般にわたる基礎知識 適性科目：技術士法の規定の遵守に関する適性 専門科目：1部門（建設部門・上下水道部門）の基礎知識および専門知識	資格取得と密接に関連した授業を実施している。	（公社）日本技術士会 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館 TEL：03-6432-4585 https://www.engineer.or.jp/ 〈学内〉谷協	本学に在学中に受験できます。	合格後すぐれた指導者の監督の下での実務経験4年、または実務経験7年（第一次試験合格前の経験も参入可能）の後に 技術士 の受験が出来る。
	2級土木技術者 （土木学会）	土木学会独自の技術者資格認定制度で、倫理観と専門的能力を有する土木技術者を評価し、これを社会に対し学会が責任を持って明示することを目的とする。	A	通年受験可	通年受験可 全国47都道府県	基礎問題：工学基礎知識（技術者倫理、数学、物理等）に関する問題（10問） 専門問題：専門基礎知識に関する問題（主要6分野 各15問、合計90問から60問を任意に選択）	資格取得と密接に関連した授業を実施している。	（公社）土木学会土木学会技術推進機構 〒160-0004東京都新宿区四谷1丁目（外濠公園内） TEL：03-3355-3502 http://committees.jsce.or.jp/opc et/ 〈学内〉谷協	本学に在籍中に受験できます。資格認定には1年以上の実務経験年数（大学院在籍も認められる）が必要。5年ごとに資格更新され、所定の継続教育単位の取得が必要。	1級技術者資格 実務経験7年以上 上級技術者資格：同上12年以上 特別上級技術者：同上17年以上
	土木施工管理技士 （1・2級第一次検定試験）	土木工事の施工計画・施工図の作成、工程管理、品質管理を行う	A	1級：3月 2級前期：3月 2級後期：7月	1級：7月 14地区 2級前期：6月 10地区 2級後期：10月 20地区	土木工学等：土木工事に必要な土木工学、電気工学、機械工学、建築学の概略な知識。設計図書の判読 施工管理法：土木工事の施工計画、工程管理、安全管理、品質管理等 法規：建設工事の施工に必要な法規	資格取得と密接に関連した「土木施工」の授業を実施している。	（一財）全国建設研修センター 〒187-8540東京都小平市喜平町2-1-2 TEL：03-3581-0138 https://www.jctc.jp 〈学内〉谷協	一次検定の1級は19歳以上 2級は17歳以上で受験可能	二次検定受験には実務経験を要する。
	造園施工管理技士 （1・2級第一次検定試験）	造園工事の施工計画・施工図の作成、工程管理、品質管理を行う。	B	1級：5月 2級前期：3月 2級後期：7月	1級：9月 10地区 2級前期：6月 10地区 2級後期：11月 14地区	土木工学等：造園工事に必要な土木工学、園芸学、電気工学、機械工学、建築学の概略な知識。設計図書の判読。 施工管理法：造園工事の施工計画、工程管理、安全管理、品質管理等。 法規：建設工事の施工に必要な法規	「土木施工」など関連学科を開講している。	同上	一次検定の1級は19歳以上 2級は17歳以上で受験可能	二次検定受験には実務経験を要する。
	管工事施工管理技士 （1・2級第一次検定試験）	管工事の施工計画、工程管理、品質管理、安全管理を担当する。	B	1級：5月 2級前期：3月 2級後期：7月	1級：9月 10地区 2級前期：6月 10地区 2級後期：11月 14地区	機械工学等：管工事に必要な機械工学、衛生工学、電気工学、建築学の概略な知識。設計図書の判読。 施工管理法：管工事の施工計画、工程管理、安全管理、品質管理等 法規：建設工事の施工に必要な法規	「土木施工」など関連学科を開講している。	同上	一次検定の1級は19歳以上 2級は17歳以上で受験可能	二次検定受験には実務経験を要する。
	下水道技術検定 （第1種・第2種・第3種）	公共・流域下水道の設計・維持管理などを行う業者に必要な資格。	B	毎年6～7月	毎年11月頃 全国10都市で実施	第1種：下水道計画、下水道設計、施工管理法、下水処理、法規 第2種：下水道設計、施工管理法、下水処理、法規 第3種：下水処理、工場排水、運転管理、安全管理、法規	試験内容と密接に関連した授業を実施している。	地方共同法人日本下水道事業団 〒113-0034東京都文京区湯島2-31-27湯島台ビル https://www.jswa.go.jp/ 〈学内〉谷協	受験資格の制限なし。	
	下水道管理技術認定	下水道管路施設の維持管理を行うために必要。	B	同上	同上	管路施設：工場排水、維持管理、安全管理、法規	試験内容と密接に関連した授業を実施している。	同上	受験資格の制限なし。	
	測量士補	測量士の作成した計画に従い、基本測量・公共測量を行う登録技術者	B	毎年1月頃	毎年5月		資格取得に必要な講義と実習を行っている。	登録申請書：国土地理院ホームページよりダウンロード https://www.gsi.go.jp/ 〈学内〉谷協	当専攻の卒業生は申請のみで資格が得られる。	当専攻を卒業後、1年以上の実務経験があれば、申請により 測量士 の資格が得られる
	測量士	測量法で定めた基本測量・公共測量を行い得る登録技術者	B	毎年1月頃	毎年5月		資格取得に必要な講義と実習を行っている。	同上	受験資格の制限なし。	同上
	危険物取扱者（乙種）	発火性・引火性の強い危険物を製造、貯蔵、取扱をする場所の保安を監督する。	B	試験日のおよそ1～2か月前	前期：4月～9月 後期：10月～3月 全国都道府県で実施	乙種：危険物に関する法令、基礎的な物理学及び基礎的な化学、危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法	資格取得に有利となる授業を開講している。	（一財）消防試験研究センター 各道府県支部及び関係機関・各消防本部・消防署 https://www.shoubo-shiken.or.jp	受験資格の制限なし。（甲種は化学系学科卒業生に限定される。）	

内容は調査時点から変更されている可能性もあるので、受験する場合は事前に【問い合わせ先・ホームページ】で確認すること。

卒業後に受験可能な資格試験（土木系）	資格名	概要	申込期間	試験日・試験地	試験科目	大学での支援内容	問い合わせ先・ホームページ	備考・受験資格
	技術士 （建設部門・上下水道部門）	高等の専門的応用能力を備えた技術者として認定される資格である。技術士は技術コンサルタントの能力があることを国が認定した技術者であることを示す。担当できる。	一次試験6月 二次試験4月	一次試験10月 二次試験7月 試験場所は下記の各県の指定会場（北海道、宮城県、東京都、神奈川県、新潟県、石川県、愛知県、大阪府、広島県、香川県、福岡県及び沖縄県）	一次試験 基礎科目、適性科目、専門科目 二次試験 技術部門全般にわたる専門知識の択一式試験、および選択科目について専門知識、応用能力、課題解決能力を問う筆記問題 口頭試験 受験者の技術的体験や適格性を問う	一次試験の内容は大学の授業と密接に関連している。	（公社）日本技術士会 〒105-0001東京都港区虎ノ門4丁目1番20号田中山ビル8階 TEL: 03-3459-1333 https://www.engineer.or.jp	技術士になるための技術士第二次試験の受験資格は、科学技術に関する専門的応用能力を必要とするような計画、研究、設計、分析、試験又は評価の業務に通算 7年を超える期間従事すること、または、技術士補として、通算4年を超える期間技術士を補助すること。
	土木施工管理技士 （1級・2級二次検定試験）	土木工事において、主任技術者または、監理技術者として施工計画を作成し、現場における工程管理、安全管理など工事施工に必要な技術上の管理などを行う。	1級：3月 2級：7月	1級：10月 全国13地区（近辺は新潟市、名古屋市、大阪市） 2級：10月 19地区（北陸は富山市）	第一次検定と、実務経験後の第二次検定がある。1級、2級とも科目として土木工学等、施工管理法、法規がある。	授業の「土木施工」と密接に関連している。	（一財）全国建設研修センター 〒187-8540東京都小平市喜平町2-1-2 https://www.jctc.jp	必要な実務試験年数は条件によって異なるため、確認のこと。
	コンクリート診断士	コンクリート構造物の診断を行い、維持管理、修繕の計画を行う。	4月～5月	7月 （札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、高松、福岡、沖縄）	変状の種類と原因・劣化の機構・調査手法・劣化予測、評価および判定基準・対策の種類、補修・補強工法・建築物あるいは土木構造物の診断の考え方・調査方法・技術および基準類の変遷に関する筆記問題	大学で鉄筋コンクリート構造の単位を取得する必要がある。	（公社）日本コンクリート工学会 〒102-0083東京都千代田区麹町1-7相互半蔵門ビル12F TEL：03-3263-1571 FAX：03-3263-2115 https://www.jci-net.or.jp	コンクリート技術に関する科目を履修した大学卒業で、4年以上のコンクリート関係技術業務経験が必要。コンクリート診断士講習会の受講が必要。
	舗装施工管理技術者 （1級・2級）	適切な舗装工事を行い得る高水準の知識・能力を持つ技術者の資格	毎年 2 月	毎年6月 全国10都市	土木工学：土工、コンクリート構造物、建設機械、安全施設、造園、設計図書など 舗装工学：設計、材料、施工、補修 施工管理：施工計画、施工管理 関連法規	試験内容と密接に関連した授業を実施している。	（一社）日本道路建設業協会 〒104-0032東京都中央区八丁堀2-5-1 東京建設会館TEL：030-6280-5038 www.dohkenkyo.com/pavement/	1級受験資格：卒業後3年の実務経験 2級受験資格：卒業後1年の実務経験
	コンクリート主任技士 コンクリート技士	コンクリート技士はコンクリートの製造・施工・検査・管理する。コンクリート主任技士はさらに研究計画・指導を行う。	毎年8～9月	毎年11月 全国9都市	コンクリートに関する問題：標準仕様書、コンクリート用材料、配合設計、試験、プラントの計画管理、製造および品質管理、コンクリート施工 関係法規：建築基準法、JIS法 小論文（コンクリート主任技士）	試験内容と密接に関連した授業を実施している。	（公社）日本コンクリート工学会 〒102-0083東京都千代田区麹町1-7相互半蔵門ビル12F TEL: 03-3263-1571 https://www.jci-net.or.jp	コンクリート主任技士：卒業後4年の実務経験 コンクリート技士：卒業後2年の実務経験